大藏經索引

大正新修

第84冊

續經疏部 二下

新文豐出版公司 影印

大正新修 大藏經索引 第34冊 續經疏部二下

中華民國81年4月台1版

精1冊基價15.7元

編集者：大藏經學術用語研究會
發行者：高本釗
發行及印刷所：新文豐出版公司
公司：臺北市雙園街96號
電話：3060757·3088624
門市部：臺北市羅斯福路一段20號8樓
電話：3415293·3415294
台北郵政3643信箱
登記證：局版臺業字第0649號
郵政劃撥：0100442 6號

ISBN 957-17-0447-4（套）

ISBN 957-17-0450-4（第三十四冊：精裝）

出 版 說 明

本「大正藏續編索引」第三二至四八册係根據大正新修大藏經續編第五六至八五册所作諸內容索引，這是日本大藏經學術研究會邀請六所佛教大學——立正、大谷、大正、龍谷、駒澤、高野山等負責編撰本索引，深獲各界好評，特此推介學林，以公諸讀者。

凡其五五册正編部份所作三一册索引，業於民國六十九年景印刊行，屢經讀者多方詢問：何時得以全部出齊，以利學者應用；經數年來考核評量，並得鄰國日本諒解，爲使此國際性工具書，俾以完整面目提供學者使用，特此全數景印，有了這部索引，任何問題都可以迎刃而解，可知此部索引存在價值是何等珍貴，謹此說明。

本公司編輯部　謹啟壬申年元月

簡介研讀大藏經的工具書

楊白衣

～法寶總目錄與大藏經索引之功用～

研讀大藏經是每一位佛子嚮往的終身大事，不研究則已，若想研究，則非賴特殊工具書莫辦。過去研究佛學，一、靠辭典，二、靠年表，三、靠經書目錄，但這些工具書已無法收到事半功倍之效，勢必另覓他途解決。

日本學者對此提供了最有力的工具書二種，其嘉惠學界之深，誠令吾人嘆爲觀止！此二種工具書，一曰『法寶總目錄』，一曰『大藏經索引』。案此二部書之主要功用如下：

一、法寶總目錄之功用可查下列事項：

㈠知著者而不知其著作。

㈡知經書而不知著者、譯者。

㈢知經書而不知有無異譯本。

㈣知經書而不知何代、何年、何人之著譯。

㈤知經書而不知內容章節。

㈥知經書而不知在何處（第幾册、幾頁）

㈦知經書而不知有無前人之註解。

㈧查著譯者之籍貫、俗姓、生卒年。

㈨查經書之原名、漢譯名、日譯名。

㈩查經書在各種版本之歸屬。

二、大藏經索引之功用有下列事項：

㈠查法相、名數之所在以及定義等。

㈡查人名、地名等所有固有名詞之原名，出現次數以及同名異人。

㈢查某一術語在某一部經書中之用例、定義、異名及在各宗派中之觀點。

㈣查五十種分類項目（詳如下表）之所在以及佛教的人生觀、宇宙觀。

㈤查典籍之解題以及在國際上現今的研究成果。

㈥查每册藏經之詳細內容以及佛教之觀點。

『法寶總目錄』共三巨册，除檢查上述各種要目之外兼有經錄的性質，不但收錄了各版本藏經，如『明藏』、『卍藏』、『卍續藏』等目錄，以及名庫所藏之書目，且有智旭大師的『閱藏知津』與陳實的『大藏一覽集』，可查每一部經律論（一七七三部）之解題、音義、傳記、疏鈔、目錄、纂集、護教、序讚、詩歌等，極爲方便。

『大藏經索引』是根據日本『大正新修大藏經』（中華文化會館及新文豐出版公司影印之大藏經）前五十五册所作之內容索引，這是日本大藏經學術研究會邀請六所佛教大學負責編撰的索引。其索引之計劃工作本以名學者小野玄妙博士（佛書解說大辭典作者）爲中心，從民國三十二年開始著手，並已刊行了阿含部、目錄部、法華部各乙册。這個計劃後來由於博士之逝世和第二次世界大戰之影響而不得不告中斷。直到民國四十五年由大谷大學，高野山大學，駒澤大學、大正大學、立正大學、龍谷大學等六所佛教大學重新提議，計劃把『大正新修大藏經』中之印度、中國、日本等三國選述之部分共計八十五册之內容作成索引四十八册以利學者應用。這六所佛教大學合議之結果，組成大藏經學術用語研究會，對內容的分類項目先行檢討後，決定以下列的原則展開工作。

一、以小野玄妙博士之計劃爲藍本，分爲分類項目別索引、音次索引、字劃索引、四角號碼索引、梵語索引、使其成爲國際性之工具書。

二、用語之選擇，以漢譯大藏經爲準，以總合研究之方法，每頁選出五十個學術用語，而把它配於五十種分類項目。五十種分類項目，以印度撰述部分爲中心，而每項目之下再細分若干細目，其詳目如下：

1.教　說：經典分類名目（三藏、九分教、十二分教等）……a通說　b三藏　c九分教　d十二分教

2.教　判：有關大乘小乘，一乘三乘，密宗及各宗判教之用語……a通說　b大小乘　c一三乘　d各說

3.教　理：表示教理之用語如三法印、空、中、緣起、佛性、如來藏等……a通說　b各說

4.法　相：有關構成宇宙萬象的現象與本體之用語，與五位諸法有關連的名稱……a通說　b色法　c心法　d非色非心法

5.惑　業：有關說明輪迴的惑障，業道之用語（除緣起、因果）……a通說　b惑　c業　d苦

6.行　位：表示修行道位及得果的有關斷惑證理之用語……a通說　b凡夫位　c聲聞緣覺位　d菩薩位

此为试读，需要完整PDF请访问：www.ertongbook.com

7.戒　律：有關戒律之種類、細目、持犯等之用語……a通說　b各說

8.禪　觀：有關一般禪定、三昧、觀法之用語……a通說　b禪定　c觀法

9.世　界：有關三界、六道等之用語……a通說（包括三界六道，二十五有）b天　c大　d地獄　e餓鬼　f畜生　g阿修羅　h其他

10.佛　：有關佛的德性、身土、佛名、諸尊之用語……a通說　b德性　c佛身　d佛土　e佛名　f諸尊

11.人　名：按照身分分類之固有名詞……a比丘比丘尼　b優婆塞優婆夷　c仙人　d外道　e菩薩　f其他

12.教　派：有關學派、宗派之用語……a學派　b宗派

13.教　團：有關僧伽、教團之法規及僧階之用語……a通說　b法規　c僧階　d其他

14.寺　院：有關寺院之用語……a通說　b各說

15.信　仰：有關各種信仰之用語……a通說　b各種信仰（包括稱名唱題等）

16.儀　禮：有關佛事及僧衆等一般儀式、作法之用語……a通說　b佛事　c作法　d僧衆行儀

17.事　相：有關密宗四度加行、灌頂行法之用語……a通說　b行法　c四度加行　d護摩　e灌頂　f其他

18.曼 荼 羅：有關密宗行法修行之本尊曼荼羅之用語……a通說　b各說

19.印　契：有關密宗於行法時結印契（手印）之用語……a通說　b各說

20.陀 羅 尼：有關陀羅尼之用語……a通說　b眞言（純密）　c其他

21.外　教：有關婆羅門教，印度諸學派、儒教、道教、神道之用語……a通說　b婆羅門　c印度諸學派　d儒教　e道教　f神道　g其他

22.咒　術：有關幻化、咒術之用語……a通說　b幻化　c咒術

23.天文曆數：有關天文、時節、方位、算數、度量衡之用語……a通說　b日月星宿　c氣象　d時分　e歲月　f宿曜曆及吉凶日　g方位　h算數　i度量衡

24.地　理：有關地理、地名之用語……a通說　b地名　c山名　d水名　e園林名

25.動　物：有關動物之用語……a通說　b各說

26.植　物：有關植物之用語……a通說　b各說

27.鑛　物：有關鑛物之用語……a通說　b各說

28.物　理：認爲與物理，化學有關之用語……a通說　b色　c形狀　d聲音　e光熱

29.論　理：有關因明，論理學之用語……a因明　b論理。

30.心　　理：認爲與心理學有關之用語

31.倫　　理：有關倫理、道德之用語（例如恩義等）

32.教　　育：有關教育之用語。

33.生理衛生：有關生理與衛生之用語……a通說　b身體　c出生　d生理　e衛生

34.醫術藥學：有關醫術、藥學之用語……a通說　b療法　c病名　d藥

35.民　　族：有關民族、種族之用語……a民族　b種族　c其他

36.社　　會：有關家族、身分、階級等之用語……a通說　b家族　c身分　d階級　e其他

37.政治經濟：有關政治、法制、軍事、經濟之用語……a通說　b行政　c法律　d財政　e軍事

38.產　　業：有關一般職業之用語……a通說　b職業

39.風　　習：有關飲食、衣服、風俗之用語……a通說　b食物　c調味料　d飲料　e衣服　f裁縫　g風俗　h娛樂

40.言　　語：有關語言之種類、文字、文法、翻譯之用語以及梵語，巴利語等之音譯名詞……a通說　b種類　c文字　d文法　e翻譯　f音譯名詞　g其他

41.名　　數：以數目合成之用語

42.典　　籍：有關一般典籍之用語（包括品名）

43.紀　　年：有關年號、干支、王朝等之用語

44.文　　藝：譬喻、因緣、詩頌等與文藝有關之用語……a通說　b本生　c因緣　d譬喻　e文疏　f詩偈

45.音　　樂：有關音樂之用語……a通說　b音聲律呂　c調子　d聲譜　e典目　f樂器。

46.建　　築：有關建築之用語……a通說　b種類　c規構　d技法　e堂舍

47.圖　　像：有關佛、菩薩等的繪畫、彫刻之用語……a通說　b繪畫　c彫刻

48.工　　藝：有關美術工藝之用語……a通說　b題目　c形像　d素材　e技巧

49.器　　物：有關器具、佛具之用語……a通說　b佛具　c器具

50.雜　　語：不屬於上述四十九項目之詞彙

六家大學的分擔情形，到目前爲止已出版者如下：

甲、印度撰述部

索引第一册	阿含部	駒澤大學	大正藏第一、二册
索引第二册	本緣部	高野山大學	大正藏第三、四册
索引第三册	般若部	大正大學	大正藏第五～八册

索引第四册	法華涅槃部	龍谷大學	大正藏第九、第一二册
索引第五册	華嚴部	龍谷大學	大正藏第九、一〇册
索引第六册	寶積部	大谷大學	大正藏第一一、一二册
索引第七册	大集部	龍谷大學	大正藏第一三册
索引第八册	經集部（上）	駒澤大學	大正藏第一四、一五册
索引第九册	經集部（下）	大谷大學	大正藏第一六、一七册
索引第一〇册	密教部（上）	高野山大學	大正藏第一八、一九册
索引第一一册	密教部（下）	大正大學	大正藏第二〇、二一册
索引第一二册	律部（上下）	駒澤大學	大正藏第二二～二四册
索引第一三册	釋經論部中觀部	駒澤大學	大正藏第二五、二六、三〇册
索引第一四册	毘曇部（上）	立正大學	大正藏第二六～二八册
索引第一五册	毘曇部（中）	龍谷大學	大正藏第二六～二八册
索引第一六册	毘曇部（下）	大谷大學	大正藏第二九册
索引第一七册	瑜伽部（上下）	立正大學	大正藏第三〇、三一册
索引第一八册	論集部	龍谷大學	大正藏第三二册

乙、中國選述部

索引第一九册	經疏部(一)	大正大學	大正藏第三三、三四册
索引第二〇册	經疏部(二)	大谷大學	大正藏第三五、三六册
索引第二一册	經疏部(三)	龍谷大學	大正藏第三七、三八册
索引第二二册	經疏部(四)	高野山大學	大正藏第三八、三九册
索引第二三册	律疏部論疏部(一)	龍谷大學	大正藏第四〇、四一册
索引第二四册	論疏部(二)	大谷大學	大正藏第四二～四四册
索引第二五册	諸宗部(一)	立正大學	大正藏第四四、四五册
索引第二六册	諸宗部(二)	大正大學	大正藏第四六、四七册
索引第二七册	諸宗部(三)	駒澤大學	大正藏第四七、四八册
索引第二八册	史傳部（上）	大谷大學	大正藏第四九、五〇册
索引第二九册	史傳部（下）	龍谷大學	大正藏第五一、五二册
索引第三〇册	事彙部外教部	高野山大學	大正藏第五三、五四册
索引第三一册	目錄部	立正大學	大正藏第五五册

丙、日本撰述部

索引第三二册	續經疏部㈠	立正大學	大正藏第五六、五七册
索引第三三册	續經疏部（二上）	高野山大學	大正藏第五八、五九册
索引第三四册	續經疏部（二下）	高野山大學	大正藏第六〇、六一册
索引第三五册	續律疏部	駒澤大學	大正藏第六二册
索引第三六册	續論疏部㈠	大谷大學	大正藏第六三～六五册
索引第三七册	續論疏部（二上）	龍谷大學	大正藏第六五、六六册
索引第三八册	續論疏部（二下）	龍谷大學	大正藏第六六～六八册
索引第三九册	續論疏部㈢	龍谷大學	大正藏第六八～七〇册
索引第四〇册	續諸宗部㈠	立正大學	大正藏第七〇、七一册
索引第四一册	續諸宗部㈡	大谷大學	大正藏第七二～七四册
索引第四二册	續諸宗部（三上）	大正大學	大正藏第七四～七七册
索引第四三册	續諸宗部（三下）	高野山大學	大正藏第七七册
索引第四四册	續諸宗部㈣	高野山大學	大正藏第七八、七九册
索引第四五册	續諸宗部㈤	駒澤大學	大正藏第八〇～八二册
索引第四六册	續諸宗部㈥	大谷大學	大正藏第八三、八四册
索引第四七册	古逸部、疑似部	駒澤大學	大正藏第八五册
索引第四八册	悉曇部	大正大學	大正藏第八四、八五册

本索引之最大特色爲站在最新的研究成果，以梵文、巴利文等音譯，固有名詞爲中心，盡量地附註羅馬字拼音的原文。

『大藏經索引』用途之大，吾人得由五十種分類項目窺見一斑，於此不但可見佛法大海之廣闊無邊，且能證明佛法之多面性格，其內容有人文科學、社會科學、自然科學，應有盡有。以前吾人研究佛學總有望洋興嘆，不知所措之感，現在有了這部索引，任何問題都可迎刃而解，吾人可隨意查閱自己所欲了解之事項。於此不但可查出該用語在大藏經中的所在（頁數），亦可比照各宗派對該問題之看法。不像已往想查尋一個問題往往得花費許多時間，仍無法解決問題，至於想比較研究那就更困難了。例如：有關「業」與「輪迴」之問題來說，可將原始佛教，部派佛教、大乘佛教中較代表性之經論，如：阿含經、俱舍論、成業論、中觀論等之有關「業」與「輪迴」之記載，依索引的指示抄錄出來，然後加以研究原義以及發展的過程。這豈不是輕而易舉之事。在未有索引以前吾人必須讀破整部經典，方能洞悉該問題之所在，而且仍無法收集完整的資料。

又例如吾人想知道佛教對生理衛生的看法，對國家、社會的看法，則可隨便找一本索

引，查閱有關這些問題之所在，然後找某一部經論研讀。這在以前是做夢也想不到的事，由此可知這部索引之存在價值是何等地珍貴了。

總之，研究佛學『法寶總目錄』與『大藏經索引』爲學者不可缺的重要工具書。

收 錄 典 籍 解 題

本書は『大正新脩大藏經』第六十卷（續經疏部五）・第六十一卷（續經疏部六）の索引であり、次に掲げる典籍から學術用語を抽出したものである。

〔收錄典籍〕

經典番號	典籍名・卷數	撰者名
（第六十卷）		
No. 2218	大日經疏鈔（85卷）	日本 宥快 撰
No. 2219	大日經住心品疏私記(20卷)	日本 疊寂 撰
No. 2220	大日經供養次第法疏私記（8卷）	日本 宥範 撰
（第六十一卷）		
No. 2221	金剛頂經開題（1卷）	日本 空海 撰
No. 2222	教王經開題（1卷）	日本 空海 撰
No. 2223	金剛頂大教王經疏（7卷）	日本 圓仁 撰
No. 2224	金剛頂經偈釋（1卷）	日本 賴尊 撰
No. 2225	金剛頂大教王經私記（19卷）	日本 疊寂 撰
No. 2226	三十卷教王經文次第（2卷）	日本 杲寶 撰
No. 2227	蘇悉地羯羅經略疏（7卷）	日本 圓仁 撰
No. 2228	金剛峰樓閣一切瑜伽瑜祇經修行法（3卷）	日本 安然 述
No. 2229	瑜祇總行私記（1卷）	日本 眞寂 撰
No. 2230	菩提場經略義釋（5卷）	日本 圓珍 撰
No. 2231	蓮華胎藏界儀軌解釋（3卷）	日本 眞興 撰
No. 2232	梵嚩日羅馱覩私記（1卷）	日本 眞興 述
No. 2233	大佛頂經開題（1卷）	日本 空海 撰
No. 2234	注大佛頂眞言（1卷）	日本 南忠 撰

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com

No. 2235	大佛頂如來放光悉怛他鉢怛囉陀羅尼勘註（1巻）	日本	明覺 撰
No. 2236	理趣經開題（1巻）	日本	空海 撰
	理趣經開題（1巻・異本1）		
	理趣經開題（1巻・異本2）		
No. 2237	眞實經文句（1巻）	日本	空海 撰
No. 2238	理趣經種子釋（1巻）	日本	覺鑁 撰
No. 2239	大樂經顯義抄（3巻）	日本	濟暹 撰
No. 2240	理趣釋重釋記（1巻）		
No. 2241	理趣釋祕要鈔（12巻）	日本	杲寶 說 賢寶 記
No. 2242	大隨求陀羅尼勘註（1巻）	日本	明覺 撰
No. 2243	千手經二十八部衆釋（1巻）	日本	定深 撰
No. 2244	孔雀經音義（3巻）	日本	觀靜 撰
No. 2245	不空羂索毘盧遮那佛大灌頂光明眞言句義釋（1巻）	日本	高辨 撰

No.2218　大日經疏鈔

本書は、一行記『大毘盧遮那成佛經疏』20巻（No.1796）の「住心品疏」の註釋書である。別に『大疏鈔』『大日經鈔』『大日經口之疏鈔』『大日經住心品疏鈔』『大日經疏記』『口疏宥快鈔』『口疏』と稱され、85巻（31册）よりなる。高野山寶性院の宥快の口說とされるが、門弟が宥快の講說を聽聞して筆錄したものとみなされている。講筵は承應4年（AD.1655）に95日に亘って開かれたことがその註記によって知られる。宥快（AD.1345—1416）は同時代の高野山無量壽院の長覺（壽門派）とともに高野山南山教學の大成者として、寶門派を形成し、長覺の不二門に對して而二門を說いたと言われる。また、東寺の三寶の一人である杲寶（AD.1306—1362）や根來の賴瑜（AD.1226—1304）とともに眞言教學史上に重要な位置を占めた人であることは改めて言うまでもない。『大日經』「住心品」の註釋に對する解說はきわめて多くその撰述は枚擧にいとまがないほどであるが、その中にあって、杲寶の『大日經疏演奧鈔』60巻（No.2216）や賴瑜の『大日經疏指心鈔』16巻（No.2217）とともに、古來もっとも權威あるものと

して尊重されてきている。

本典は高野山清淨心院藏本（承應４年版）を底本として、これと同本の鎌田觀應手入本と日本大藏經本と密門宥範手入本の３本を校合勘同したものである。

No.2219　大日經住心品疏私記

本書は『大日經疏私記』とも稱され、『大日經住心品疏』に對する註釋書であって、曇寂（AD.1674-1742）の撰述である。

本書は、『大毘盧遮那成佛神變加持經』（『大日經』）の教主は本地身であるか、加持身であるかという本地說・加持說とに對して、自らは二說和合した本加和融說を說示しているように、『大日經』の「住心品」を中心として、その疏に記述されている文句を詳細に註釋している。さらに本書は、第九の末に「享保八年歲在癸卯夏五月二十有六日沙門曇寂　元文二年星宿丁巳春三月初六日重正治閣筆」、あるいは第十の末に「享保八年歲次癸卯六月二十三日　沙門曇寂手書　同十四年己酉春三月再閱添刪　元文二年丁巳春三月重正治」、または第二十の末にある「享保九年歲次甲辰二月初七日閣筆　同十四年己酉夏五閱校治　沙門達摩扇底　元文二年歲次丁巳夏四月初十日重正治竟」との奥書きや、その他、第十・第十一・第十五・第十六・第十七・第十八・第十九の各卷末の奥書から、師は50歲前後頃より本書の執筆にとりかかり、63歲に至る13年の間に再三再四校正をほどこしていることが知られる。

曇寂は字を惠旭と稱し、延寶２年(AD.1674)、備後の國福山に誕生した。13歲頃に、鄕里の明王院にて出家し、後に山城の國五智山の禪杲に師事し、早くから顯密二教に通じ、學僧として寬保２年(AD.1742)、69歲で示寂するまでの間、顯密事相悉曇などに頗る造詣が深く、數多くの著書を殘している。これに關して弟子常明（AD.1702-1784）の記す『曇寂和尙所撰目』には、八十二部四百十五卷（經疏抄記　五十七部三百八卷、事相抄記　二十五部百十二卷）の著述のあることが記載されている。それらの中でも本書は、現存する師の著書の內、隨一のものであると言われている。なお師は、三寶院流の支流である地藏院流の達匠としても譽れ高い。

No.2220　大日經供養次第法疏私記

不可思議撰『大日經供養次第法疏』２卷（No.1797）に對する宥範（AD.1270-1352）

の註釋書である。宥範は讃岐善通寺の僧で、『大日經』受傳のために、下野の衣寺に妙淨上人宥祥を訪れた。妙淨はその求法の熱誠に動かされて、遂に1年を費やして『大日經疏』を講じた。宥範は妙淨から受けた講傳をもとに、7本の『大日經疏』についての著作をしている。この『大日經供養次第法疏私記』はその一部をなすものである。『供養次第法疏』の註釋書は、古來その種類が少なく、本書は類書中主要なものとして尊重すべきものである。內容は「疏題目」、「疏主序」、「本作釋」の三つの觀點を設け、『疏』の文を詳釋している。

No.2221　金剛頂經開題

本書は、弘法大師空海（AD.774-835）の筆になる、不空三藏譯三卷本『金剛頂經』（『金剛頂瑜伽一切如來眞實攝大乘現證大敎王經』（No.865））の『開題』である。本書の類本に『敎王經開題』（No.2222）がある。

內容は、大略して三段にわけられる。初めに「綱緒」を述べ、次に「題額」を述べ、後に「經文」を解釋する。

まず、序論（「綱緒」）においては、法身佛の四種曼荼羅身、三密行は、從來の大乘の敎えを遙かに超越しており、その敎えは初め龍猛菩薩が金剛薩埵から受けて流布するが、その時大日如來の萬德顯われ無盡莊嚴の世界を現ずる、それこそ速疾成佛の敎えである、という。

「題額」を述べる際には、『金剛頂經』十八會の「題額」、および各會の內容の一班を略述する。まず、この經が『金剛頂經』十八會の初會であることを明らかにし、その「經題」を人・法・喩に約して十對の解釋をなし、梵語の題目を釋し、シナ譯の「金剛」、「頂」、「瑜伽」、「一切如來」、「眞實」、「攝大乘」、「現證」、「大敎王」、「經」についてそれぞれ顯密に二義のあることを說き、『釋摩訶衍論』によって、「眞實」の意味を明らかにしている。さらに、「經題」を順相緣、逆相緣に約して說き、また、六合釋や六相義や四悉檀や三聲などに約して說きえるとし、佛に約して說き、修行門に約して說き、經中の文義に攝して釋し、また梵名をあげて字相と字義の二方面から解釋している。

佛に約して、「金剛頂」を大日尊、「一切如來」を阿閦佛、「眞實」を平等性智の佛、「攝大乘」を無量壽佛、「現證大乘」を不空成就の五佛に配して理解し、「王」は五佛

に共通、「經」は五佛の三摩地を說くゆえに、と述べている。次に、修行門に約して、「金剛」を法佛の三密に配し、三密の法門は二乘、菩薩を超過するゆえに「頂」であると解釋し、「一切如來」を身密、「眞實」を語密、「攝大乘」を意密に配し、それをもって本尊の妙觀を得るのを「現證」といい、その說くところは諸經の王であるから「大敎王經」であると解釋する。次に、「經題」を文義との關連から釋說する。『金剛頂經』は四智印を說く、とし、「金剛」を三昧耶智印、「如來」を大智印、「眞實」「摩訶衍」を法智印にそれぞれ配釋し、「大敎王」のなかに羯磨智印を攝する、と解釋する。『金剛頂經』の四大品（つまり、「金剛界品」、「降三世品」、「遍調伏品」、「一切義成就品」）を擧げ、各々に說かれる曼荼羅の數を述べ、その初品の段で『十八會指歸』によって《五相成身觀》の名目を示し、六曼荼羅の名目を擧げる。

第三の經文を解說する部門は二分し、初めに品名次に經文を文科し解說するが、品名「金剛界大曼荼羅廣大儀軌品」を擧げ、その解釋に終わっている。

No.2222　敎王經開題

弘法大師空海（AD.774-835）の筆になる、不空三藏譯三卷本『金剛頂經』（『金剛頂瑜伽一切如來眞實攝大乘現證大敎王經』（No.865））の『開題』である。本諸の類本に『金剛頂經開題』（No.2221）がある。この種の「開題」は、多くは、新經書寫の供養や年忌法會に因んでつくったもので、簡單に「經題」を釋して經典の大旨を述べるのが普通である。この書もその例にならい、某氏の曼荼羅書寫の供養會に際して講じたものである。

この『開題』は、第一の「表白」の文と、第二の「釋經」の二つの部分から成っている。第一の「表白」の文は、『性靈集』卷八の「佛經を講演して四恩の德を報ずる表白」に全同である。むしろ、『性靈集』の文は本來この『開題』の文であったものを收錄したものと考えられる。

まず、頭初に『金剛頂瑜伽一切如來眞實攝大乘現證大敎王經』第一、「金剛界大曼荼羅廣大儀軌品」と『金剛頂經』の四品（つまり、「金剛界品」、「降三世品」、「遍調伏品」、「一切義成就品」）のなかの初品に說かれる六曼荼羅の第一、『金剛界曼荼羅儀軌』の名が出されている。「經題」を釋說する前の文脈は、『理趣經開題』、『法華經開題』、『梵網經開題』にも用いられるものである。

第二の「經題」を解說する部分では、大・三昧耶・法・羯磨の四曼荼羅について經意を釋し、殊に法曼荼羅を述べる際には、十萬頌十八會の『金剛頂經』ありとして、『十八會指歸』によって『金剛頂經』十八會に關說している。それらの經典群は『大日經』とともに、龍猛菩薩が南天の鐵塔中に誦出したものであると說く。

最後に、漢譯の「經題」にそって「金剛頂」「一切如來」「眞實」「攝大乘」「現證」「大敎王」「經」と順次釋說し、初會の『金剛頂經』のなかに四品あり、その各々に四智印のあることを說く。

No.2223　金剛頂大敎王經疏

慈覺大師圓仁（AD.791-864）が、不空三藏譯三卷本『金剛頂經』（『金剛頂瑜伽一切如來眞實攝大乘現證大敎王經』（No.865））を註釋したもので、古來より、眞言天台兩宗の密敎徒が依憑し尊重するところのものである。

本『疏』七卷の内、第一卷と第六卷とは本末の二部に分かたれる。一の本より一の末までが玄談であり、經中所含の幽旨および圓仁の解釋學が述べられており、それ以下第七卷の終わりまでは經の文々句々の解釋である。

次に天台大師によって始められた「五重玄義」の解釋法に則り、「經名」、「經體」、「經宗」、「經用」、「敎相」に分けて、この經の玄旨が釋されている。

「經名を釋す」段にあっては、『金剛頂瑜伽一切如來眞實攝大乘現證大敎王經』の題名と「金剛界大曼荼羅廣大儀軌品」の品名を詳細に解說する。

「經體を釋す」段は「總體」と「別體」とに分ける。「總體」では阿字本不生の一理が一部の指歸、衆義の都會であるとする。「別體」では、一切の文字音聲はもちろんのこと、あらゆる萬法もみな阿字門に相卽する故に、この經の「經體」であると述べる。

「明宗」の段ではこの經は佛因佛果を宗とすることを明かす。その佛因とは五部祕密の修行と三密加持の優れたる法であり、佛果とは毘盧舍那如來五智遍法界の覺體であると述べる。

「明用」の段では、如來は祕密五智をもって妙能とし、その用たる大慈大悲がこの經の勝れたる力用であるとする。

次の「明敎相」の段では、これを三段に分けて論じる。第一には、この敎の攝屬を明かして、二藏三藏ないし六藏八藏などの藏所攝、半滿、漸頓、顯密などの敎所攝、

一乘三乘五乘の乘所攝、十二分教に約してのこの教の所攝などを解き明かす。終わりに、この經は本有金剛界阿迦尼吒天王宮中の大摩尼殿における一處一會の說であるとしている。第二にこの教の所被の機根を明かす。廣くいえば、佛性を具するものは皆祕密の根性のものであるからこの教えの當機でないものはないが、もしこの經の所說について所被の當機を言えば毘盧舍那如來の內證心地の眷屬であると述べる。第三の流通分では『金剛頂義訣』を引用しながら、この經が略經であり、南天竺の鐵塔中に在るとされる廣本には流通分があるが、略本の方にはそれを缺くと會釋されている。

No.2224　金剛頂經偈釋

本書は、三井寺の賴尊による、不空三藏譯三卷本『金剛頂經』(『金剛頂瑜伽一切如來眞實攝大乘現證大教王經』(No.865)) 卷上の五字四十四句の偈頌の第十三句「無始無終寂」以下の三十二句の釋である。奧付には、「長元6年 (AD.1033) 夏この略抄を了る」との記述がある。內容は三十二句の各々を逐次註釋していくが、「これらの偈頌は隱密難解であり、師授に非ざればじつに知ることあたわず」として、一門に從っての解釋を記し留めるにすぎないとしている。

No.2225　金剛頂大教王經私記

本書は、不空三藏譯三卷本『金剛頂經』(『金剛頂瑜伽一切如來眞實攝大乘現證大教王經』(No.865)) を、曇寂 (AD.1674-1742) が釋したものである。不空三藏譯三卷本『金剛頂經』は、『金剛頂經』十八會全部を說くものではなく、初會の四大品の一分である「金剛界曼荼羅廣大儀軌品」を譯した經典である。東密 (眞言宗) では兩部の大經、五部祕經、三部祕經の一として最も尊重するものであり、また、台密 (天台宗) でも同樣に根本經典としている。したがって、その註釋書は多數あってよさそうなものであるが、實際は甚だ少ない。東密にあっては、弘法大師空海の二つの『開題』と、宥快の『金剛頂經開題鈔』杲寶の『金剛頂經開題幼學鈔玄談分』に經の要旨を說いているにすぎない。また台密にあっても、慈覺大師圓仁の『金剛頂大教王經疏』がこの經の第二卷めまでを釋しているにすぎない。

弘法大師空海は『金剛頂經開題』(No.2221) 一卷を著して本經の要旨を述べているが、本書は最初にこの『開題』の全文を釋し、後に經文の一々を釋している。『開題』の文

此为试读,需要完整PDF请访问: www.ertongbook.com